

伊達市廃棄物減量等推進審議会会議録 要旨

会議名称	平成28年度 第1回伊達市廃棄物減量等推進審議会		
議 題	<p>○議事 議案第1号 役員選出（会長・副会長）</p> <p>○報告事項 （1）平成28年度伊達市清掃事業概要について （2）第8期伊達市分別収集計画について （3）容器包装リサイクル協会におけるPETボトルの引取り品質ガイドラインの変更等について （4）西胆振地域廃棄物広域処理施設の整備方針（案）について</p>		
開催日時	平成29年1月26日（木）10時00分～11時00分		
場 所	市役所第2庁舎第1会議室		
出席者	出席委員10名、欠席委員4名		
	所管部課名	経済環境部長、環境衛生課長、環境衛生係長、係員 計4名	
公開 非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	なし
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【会議の概要】</p> <p>1 開会（進行：環境衛生課長）</p> <p>2 委嘱状交付（机上配付により委嘱）</p> <p>3 市長挨拶 西いぶり広域連合の更新、生ごみの処理について、リサイクルのコストなど現状に触れ委員皆さまのご理解・ご協力のもと、ご審議いただき清掃行政に役立てて参りたい。</p> <p>4 自己紹介（委員及び事務局）及び出欠状況の報告</p> <p>5 議事 議案第1号 役員選出（進行：経済環境部長） 部長－事務局に案があり、委員の皆さまより異議がなければ披露させていただきご承認賜りたい。 (出席委員より異議なしの声)</p> <p style="padding-left: 40px;">事務局より会長に小林委員、副会長に栗津委員を推薦。 部長－事務局より案が提示されましたがよろしいでしょうか。 (出席委員より良しの声)</p> <p style="padding-left: 40px;">会長は小林委員、副会長は栗津委員に決定し、会長席、副会長席へ移動。 両氏より就任の挨拶があった。 以降の進行を小林会長に委任した。</p>			

6. 報告事項

小林会長より報告件数が4件あるが、一括で行うか個別に行うかの質問。
事務局より一括で説明し、その後質疑応答に入りたい旨回答。

事務局より報告事項(1)から(4)まで資料1～4に沿って説明を行った。

7. 質疑応答

会長—資料4の整備方針案について長寿命化と建替えの2つの案となっているが建て替えということに決まったのですか。

事務局—今後の方向性を決めた報告書の案という段階であります。

長寿命化より建替えの方が有利であるとの報告書となっておりますから、これから正式に広域連合の議会において報告書の内容が報告されるということになります。

会長—建替えの施設規模について、1日のごみ量182tでの試算となっておりますが、現在のメルトタワーの1日210tより少ないという事は機能的には施設の規模は小さくなるになりますか。

事務局—人口減少等によりごみ量が減ってきているなどが要因です。

会長—登別や白老がこちらに入ってくることになりまして変わりますか。

事務局—報告書は2市3町での設定で比較したものです。

今回の検討の中では参考として登別、白老が入った場合の比較も行われています。

入った場合は施設規模など上がりますが、比較において同程度の結果となります。

会長—長寿命化の場合は工事が平成32年からとなっているが、それまで何も行わないという事ですか。

事務局—長寿命化に伴う工事ということで、現行施設の小破修繕などは適宜行っています。

会長—建替えの場合の費用について焼却炉1～3があるがこの1から3全てを合計したものが建て替えの費用という事になりますか。

事務局—焼却炉の方式が3種類あるという意味であり、それぞれの方式で建替えた場合の費用です。

会長—焼却炉1、2、3のどれになるかの検討はこれからですか。

事務局—そのとおりです。

会長—長寿命化に係る費用168億円は3年間の工事費ということですか。

事務局—平成49年までの運転費用も含まれた金額です。

副会長—ペットボトル回収の取扱いが変わるということですが、市民向けの周知を早めにし、なぜ必要なのかをお知らせして欲しい。

事務局—承知しました。

委員—コンビニエンスストアのごみ箱は事業者には設置の義務があるのでしょうか。ごみ箱が撤去される時期がありました。また設置されてきています。

この件について専門に管轄している機関がありますか。

事務局－お調べして後ほど回答します。

委員－これらのごみは産廃になりますか。

事務局－事業系一般廃棄物となります。

委員－单身のご老人からの希望ですが、10リットル用の緑色の袋（可燃用）はなぜ売られていないのですか。

安心ハウスなどに住まわれている方は食事が提供されるので、ごみはあまり出ないのですが、今の20リットルの袋でもしばらく室内に保管することになりますため、夏場は特に臭いが発生します。

室蘭は10リットルの袋があるに伊達にはなぜないのかという話を聞きました。食事が提供されている方々には生ごみ用の袋は使う機会が少ないですし、経済的にも小さい袋の方がありがたいと思います。過去にも同様の話をしています。

副会長－ボランティア用の袋も小さいものがあれば便利と思います。

気になるのは小さくなると袋の個数が増えることになりますので、保管場所や取り扱いが難しくなるのではという気がします。

事務局－小さいサイズの袋の作成や販売方法について検討させてください。

委員－お願いします。

8. その他 特になし

9. 閉会